

用語集

用語	解説
アドホック（通信）	端末、固定局などの通信端局同士が行う1対1の無線通信で、アクセスポイントを経由せず、直接、通信端局間の通信を実現するもの。
カスタムIC	ある特定の目的や製品のために特別に設計・製造される半導体チップのこと。
技適	電波法令で定めている技術基準に適合している無線機であることを証明するもの。適合しているものには、「技適マーク」が付けられる。
GPS	人工衛星を利用して地球上のどこにいるのかを正確に割り出すシステム。米国防総省が管理するGPS衛星からの電波を利用して、緯度・経度・高度などを数十メートルの精度で割り出すことができる。
スターネットワーク（スターリンク）	中心となる通信機器を介して端末を相互に接続するネットワークのこと。配線の自由度が高いのが特長。
センサーネットワーク	多数のセンサーを相互に接続したネットワークのこと。接続手段に無線通信を用いる無線センサ・ネットワークを指すことが多い。
テレコントロール	遠隔地点における測定器や機器等の機能を電波で制御させること。
テレメータ	遠隔測定のこと。 テレメータシステムとは、遠隔地点の観測データを自動的に観測または検知して、電気信号に変換して送信し、データ収集地点では、その信号を受信し、これを記録または表示するための一連の機器類（無線等の送受信設備等）のこと。
電界強度	送信アンテナから放出された電波の強さ。その電波を受信した強さ（電力）は一般に、単位dBmで表される。
電子タグ	半導体チップとアンテナで構成され、無線などを用いて、半導体チップに格納されたIDなどのデータの読み取り、書き込みを行うタグのこと。
ノード	ネットワークを構成する一つ一つの要素のこと。通信ネットワークではコンピュータやハブ、ルータなど一台一台の通信機器がノードにあたる。ノードとノードを結ぶ線はリンクという。
マルチホップネットワーク	各ノードがデータを転送することができ、直接的に通信できないノード同士も、間にはさまれたノードを経由して通信が可能な無線ネットワーク。
メッシュネットワーク（メッシュリンク）	無線通信機能を持つ機器同士が相互に通信を行うことによって、アクセスポイントやサービスエリアとは無関係に広がっていくネットワークのこと。直訳で網目（Mesh）の網（Network）。通信路が複数確保できるため障害に強い。
ユビキタス	「いたるところに偏在する」という意味のラテン語に由来した言葉。 ユビキタスネットワークとは、「いつでも、どこでも、誰でも、何でもアクセス可能」なネットワーク環境のこと。
ルーティング	ルーティングとは、ネットワークにおけるデータの転送経路を制御すること、あるいは制御する技術のことである。特に、経路のうちでも最適な経路を見つけ出すこと。
レイヤ	ネットワーク対応機器の機能を階層に分割したもので、個々の機器やソフトウェアの役割を規定している。レイヤが低いほど、電気信号の形式やケーブルなど物理的実体に近い仕様を規定しており、上位のレイヤは、データ形式や表示方式などソフトウェアに近い仕様を規定する。
ログ	コンピュータの利用状況やデータ通信の記録を取ること。また、その記録。操作やデータの送受信が行われた日時と、行われた操作の内容や送受信されたデータの中身などが記録される。